



・発行 刈谷市議会 ・〒448-8501 愛知県刈谷市東陽町1丁目1番地 ・電話〈0566〉62-1032 Fax〈0566〉25-1111 ・編集 議会広報委員会  
・刈谷市議会ホームページアドレス <http://www.city.kariya.lg.jp/shigikai/> または [刈谷市議会](#)



刈谷をコスプレとアニメの聖地に  
～刈谷アニメcollection2013 25.9.29～

## 刈谷市議会基本条例を制定

### 平成24年度の決算を認定

(関連2～3ページ)

(関連8ページ)

#### 主な記事

24年度決算  
議決した議案  
委員会の動き  
一般質問  
議会基本条例の制定

ページ  
2  
4  
5  
6～8  
8

## 9月定例会のあらまし

この定例会は9月4日に招集され、会期22日間で、9月25日に閉会しました。今回は議案など28件が提出されました。

◆10日～13日 委員会審査  
議案や請願・陳情が審査され、委員会での採決が行われました。

◆24日 決算審査特別委員会、予算審査特別委員会  
決算及び補正予算議案についての採決が行われました。

◆24日 議会運営委員会  
最終日の運営を協議し、議案の採決方法などを確認しました。

◆25日 本会議(採決)  
各委員長より委員会での審査の経過と結果が報告されました。一部の議案について反対意見がありました。採決方法などを確認しました。

◆6日 本会議  
各議案について説明を受けた後、関係する委員会で審査をすることにしました。

次に、平成24年度決算関係9議案と平成25年度補正予算4議案について、説明を受けた後、それぞれ特別委員会を設置して審査することにしました。

◆6日 決算審査特別委員会、予算審査特別委員会  
決算関係議案、補正予算議案の審査のため分科会を設置して審査することにしました。

◆9月定例会を通じての傍聴者はのべ76人です。

## ★傍聴をお待ちしています★

### \* 12月定例会の開催予定 \*

- 11月21日(木) 議会運営委員会(運営を協議)
- 12月4日(水) 本会議(開会、一般質問等)
- 5日(木) 本会議(一般質問)
- 6日(金) 本会議(一般質問、議案説明等)  
予算審査特別委員会
- 10日(火) 企画総務委員会
- 11日(水) 福祉経済委員会
- 12日(木) 建設水道委員会
- 13日(金) 文教委員会
- 19日(木) 予算審査特別委員会  
議会運営委員会(運営を協議)
- 20日(金) 本会議(委員長報告・採決)

各会議は10時から開会します。当日各受付までお越しください。  
本会議：市役所10階、傍聴受付  
委員会：市役所9階、議会事務局受付

○**託児を希望される方へ**  
傍聴の際、臨時保育室「カンガールーム」をご利用できます。傍聴希望日の3日前までに議会事務局までご連絡ください。

○**手話通訳を希望される方へ**  
傍聴の際、手話通訳者派遣制度をご利用できます。傍聴希望日の1週間前までに障害福祉課(TEL62-1208・FAX24-2466)までご相談ください。

一般質問KATCH放映(106ch)  
12月10日(火)、13日(金)、18日(水)でいずれも18時から。  
詳しくはチャンネルガイドをご覧ください。

# 主な議案 9月 定例会

今回は、平成24年度決算の認定と刈谷市議会基本条例の制定についてなどです。(議会基本条例については8ページを参照ください)  
質疑については、本会議で報告された各委員会の委員長報告を中心に、要約して掲載します。

## 平成24年度決算を認定 一般会計で歳入が歳出を67億円上回る

### 決算審査特別委員会 審査のあらまし

本会議での説明後、議員選出の監査委員(中嶋祥元議員)を除く全議員で構成する決算審査特別委員会を設置しました。  
さらに、企画総務、福祉経済、建設水道、文教の4分科会を設置しました。分科会では、監査委員に出席を求め、決算審査特別委員会が要望した資料を加え、審査が行われました。

### ■企画総務関係

市税の滞納繰越分の収納率向上の要因、入札監視委員会の成果と課題

### ■福祉経済関係

地域医療連携ネットワークシステムの運用状況、中小企業に対する投資促進への補助実績及び事業継続の考え方、不燃物埋立場の使用年数、農用地利用集積奨励金補助の目標値と達成率、配食サービス拡充への考え

### ■建設水道関係

刈谷城築城の基本計画及び資金の集め方、市営住宅長寿命化の具体的な整備内容と今後の計画、緑化事業費における積立金への流用内容、岩ヶ池公園における都市計画変更の内容、サイクリングロード整備による成果

### ■文教関係

美術館の各企画展の狙いと入場者の満足度、スポーツリリーダ―養成講座の目標値の根拠、歴史博物館建設予定地の標高と浸水想定



代表監査委員による意見陳述

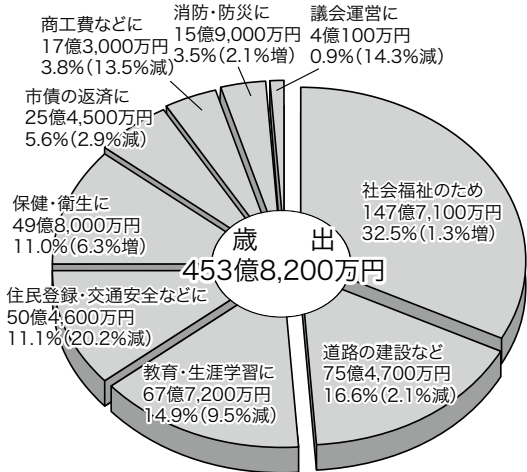
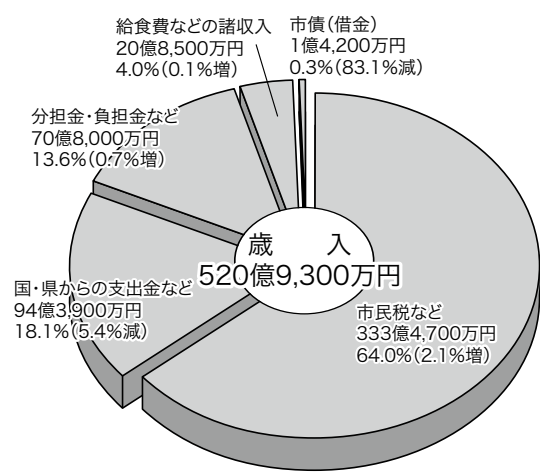
## 各会計別の決算額

会計名	歳入 (前決算年度対比)	歳出 (前決算年度対比)	形式収支 (歳入歳出差引額)
一般会計	520億9,300万円 (▲1.0%)	453億8,200万円 (▲4.3%)	67億1,100万円
特別会計 合計額	251億5,500万円 (+8.3%)	228億200万円 (+6.2%)	23億5,300万円
水道事業 会計	25億9,000万円 (+0.2%)	24億600万円 (▲3.2%)	1億8,400万円
各会計の 合計額	798億3,800万円 (+1.8%)	705億9,000万円 (▲1.1%)	

特別会計内訳	歳入	歳出
区画整理事業合計	6億3,600万円	3億8,100万円
下水道事業	52億4,500万円	44億4,000万円
国民健康保険	121億9,200万円	109億9,400万円
後期高齢者医療	12億3,800万円	12億2,000万円
介護保険	58億4,400万円	57億6,700万円

## 一般会計の内訳

(前決算年度対比)



〈国・県からの支出金などの内訳〉  
国庫支出金、県支出金、地方譲与税、利子割交付金、配当割交付金、株式等譲渡所得割交付金、地方消費税交付金、自動車取得税交付金、地方特例交付金、地方交付税、交通安全対策特別交付金

〈分担金、負担金などの内訳〉分担金及び負担金、使用料及び手数料、財産収入、寄附金、繰入金、繰越金

〈商工費その他の内訳〉  
農林水産業費、労働費、商工費、災害復旧費、諸支出金、予備費

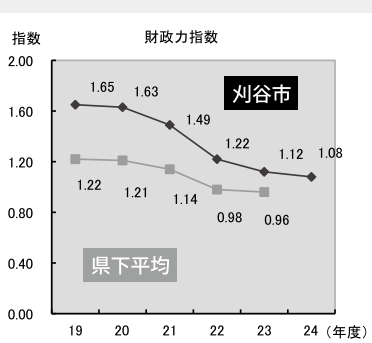
(注) それぞれの数字は四捨五入してそろえたため、総額や割合に一致していない場合があります。

## 監査委員の意見 (要旨)

### Ⅱ 一般会計・特別会計

平成24年度の決算状況は財政分析指標面からも良好なものと判断された。今後の財政状況は、歳入において、自動車関連産業の業績の持ち直しにより、市税収入は回復傾向が見られるが、一方で、自動車産業のグローバル化、消費税の増税による景気動向等さまざまな懸念材料もあり、楽観視することはできない。このように歳入の見通しがなお不透明な中、歳出においては、社会保障関連経費、老朽化した公共施設の維持・保全経費、防災・減災のための事前防災への取り組みなど市民の安全・安心に関わる経費は増加することが見込まれ、難しい財政運営が続くことが予想される。事業の予算化・実施にあたっては、調査・見直し等により高い正確性と必要性を十分検討し、計画的な実施が求められる。

平成25年は刈谷城が築城されて480年、「維新の魁」といわれた天誅組の義挙から150年となる節目の年で、さまざまな記念事業が実施・計画されている。郷土の歴史を再認識することにより、市民の郷土愛が育まれ、未来への希望と夢が紡がれることを期待するものである。



財政状況を財政分析指標でみると、財政力指数は0.04ポイント低下し1.08ポイント、経常収支比率は0.1ポイント上昇し77.7%となったが、その変動は僅かであり、引き続き良好な水準にある。公債費比率は3.0%と0.5ポイント低下していることから、良好な水準にある。

### Ⅱ 水道会計

本年度の純利益は1億5,950万1千円となり、これまでの企業の営業活動によって獲得した利益の蓄積を示す利益剰余金は12億8,053万円となっている。しかし、平成25年度以降は、平成24年の純利益の増加要因となった減価償却費について、大型の設備更新事業が完成したことにより増加することが見込まれ、純利益は大きく減少することが予測される。さらなる合理化による効率的な給水に努めることが求められる。

貸借対照表から主要な経営指標をみると、構成比率のうち財務状態の安全性を示す自己資本構成比率は91.7%で、流動負債のうち未払金が前年度と比較して減少したことにより、1.6ポイント増加した。また、他機関からの資本依存度を示す固定負債構成比率は5.4%で、新たに企業債の起債が行われなかったため企業債残高が前年度と比較して減少したことにより、0.5ポイント減少した。この2つの指標は、良好に推移しており、経営の安全性が高いことを示している。

発生が懸念される南海トラフの巨大地震に対応し、ライフラインを確保するため、特に、人命に関わる重要施設への安定化に係る対策を進める必要がある。特に、基幹管路について耐震性に優れたダクタイル鉄管への布設替事業を計画的・積極的に進めるとともに、老朽化する施設の大規模な更新事業を視野に入れた計画的な財政運営に努め、将来にわたる「安心」で「良質」な水道水の安定供給が行われるよう、安定した健全な経営を推進するよう期待する。

伊藤 嘉徳  
山内 智彦

# 平成24年度に取り組んだ主な事業

## 都市環境分野……

### 都市と自然が織りなす住みよいまちづくり

- ・防犯灯を、寿命の長いLEDへ取替えることにより、電気料と修繕料を削減 879万円
- ・亀城公園の魅力向上のため、歴史的建造物基本計画を策定したほか、老朽化の激しい施設の更新や桜の土壤改良などを実施 8,781万円
- ・平成25年度中の完成に向け、災害時に様々な復旧支援活動が行える広場として、旧市民会館跡地にセントラルパークを整備 6,435万円
- ・逢妻川河川敷を利用し、総合運動公園と亀城公園を結ぶサイクリングロードを整備 3,066万円
- ・名鉄富士松駅利用者の安全確保のため、踏切の拡幅及び歩道を設置 1億2,868万円
- ・再生可能エネルギーの導入やその電力を活用した充電ステーション設置のため、導入調査を実施 481万円

## 教育文化分野……

### 生きる力を育み生きる喜びを実感できるまちづくり

- ・議会の歴史を周知するため、既存の議会史第1編をデータ化してホームページへ掲載 81万円
- ・悩みを気軽に相談できる総合的な窓口として、子ども相談センターを整備 1億1,681万円
- ・衣浦小学校、富士松東小学校及び刈谷南中学校の大規模な改造や増築を実施 3億3,146万円
- ・刈谷偉人伝として、書誌学者森銃三、童話作家森三郎兄弟を紹介・顕彰するDVDを作成 670万円
- ・「非常口サイン」をデザインした刈谷市出身のグラフィックデザイナー、太田幸夫展を開催 461万円
- ・歴史博物館建設のため、ポーリング調査及び地盤解析などを実施 378万円

## 計画推進分野……

### 市民と行政の信頼と協働で築くまちづくり

- ・世代、団体及び国籍を超えた市民交流の促進を図るため開設した、市民ボランティア活動センター、国際プラザ、社会教育センターからなる市民交流センターを管理・運営 7,060万円
- ・幅広い市政情報を誰もが取得できるようにするため、市のホームページをリニューアル 2,150万円
- ・建替や大規模な修繕を迎える公共施設の増加が見込まれる中、適切な維持保全のため、公共施設維持保全計画を策定 847万円
- ・公共施設の改修、建替等のため、基金を設置 2億円
- ・公共工事の入札等の透明性確保のため、第3者による入札監視委員会を設置 693万円

## 産業振興分野……

### 人と技術で賑わいを創り笑顔で働き続けられるまちづくり

- ・中小企業の安定した経営管理のため、雇用安定、技術開発、防災対策支援、円滑な融資など、全6事業を実施し支援 9,960万円
- ・見本市等のブースを借上げ、刈谷市をPRするとともに、市内事業者に出展機会を創出 403万円
- ・農地の利用集積を進め、経営規模拡大による農業経営の安定化を推進 1,311万円
- ・刈谷市と衣浦定住自立圏域市町（知立・高浜・東浦）の観光情報発信拠点充実のため、刈谷ハイウェイオアシスのオアシス館を改修 3,177万円

## 福祉安全分野……

### 支えあひみんなが元気で安心して暮らせるまちづくり

- ・障害者支援センターを新設し、障害のある人の自立した生活を支援 5,706万円
- ・刈谷豊田総合病院の健診棟の改修等を支援 2億6,520万円
- ・かかりつけ医の定着を図るため、刈谷豊田総合病院と衣浦定住自立圏域内の診療所等をオンラインで結び、診療情報等を共有化 4,782万円
- ・子育て中の母親の孤立を防ぐため、子育て相談や育児・家事を行うサポーターが家庭を訪問 59万円
- ・認可外保育所へ通う児童の保護者の負担軽減のため、保育料の一部を補助 1,301万円
- ・南海トラフ巨大地震を想定し、既存の地震ハザードマップを更新 894万円
- ・災害発生時に緊急情報を瞬時に伝達するため、同報系防災行政無線（屋外拡声子局10箇所）を設置し、公共施設をJアラートへ接続 9,835万円
- ・「自助」「互助」の精神を地域へ広め、災害時等に地域で自主的な防災活動ができる人材育成のため、防災リーダー養成講座を開催 22万円



市民の健康増進のためサイクリングロードを整備



ネットワークシステムを構築し、病院と診療所の連携を推進

## 水道事業のあらまし

項目	24年度	対前年度比較	
		増減数	増減率
総人口	146,690人	720人	0.5%
給水人口	146,465人	720人	0.5%
普及率	99.8%	0.0%	—
給水戸数	61,366戸	1,133戸	1.9%
配水量	18,905,681m <sup>3</sup>	165,755m <sup>3</sup>	0.9%
市水配水量	4,684,561m <sup>3</sup>	▲80,254m <sup>3</sup>	▲1.7%
県水配水量	14,221,120m <sup>3</sup>	246,009m <sup>3</sup>	1.8%
県水依存率	75.2%	0.6%	—
有収水量率	94.0%	▲0.7%	—
1人当たり平均給水量	332ℓ	▲1ℓ	▲0.3%
1m <sup>3</sup> 当たり給水収益	133.59円	0.27円	0.2%
1m <sup>3</sup> 当たり給水費用	129.30円	▲5.38円	▲4.0%

## 議決結果一覧表

・工事請負契約の額を変更する専決処分について 平成24年度刈谷市水道事業会計継続費の精算について 公平委員会委員の選任について 固定資産評価審査委員会委員の選任について 教育委員会委員の選任について	了承 了承 同意 同意
【福祉経済委員会関係・2議案】 指定管理者の指定について（刈谷市つくし作業所） 工事請負契約の締結について（仮称）夢と学びの科学体験館プラネタリウム機器更新等工事	すべて可決
【建設水道委員会関係・3議案】 市道路線の認定、廃止及び変更について 刈谷市営住宅管理条例の一部改正について 工事請負契約の締結について（公共下水道雨水幹線整備工事（市道3-84号線））	すべて可決
【平成24年度決算関係・9議案】 一般会計歳入歳出決算認定について（認定第1号） 刈谷小垣江駅東部土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算認定について（認定第2号） 刈谷野田北部土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算認定について（認定第3号） 下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について（認定第4号） 国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について（認定第5号） 後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について（認定第6号） 介護保険特別会計歳入歳出決算認定について（認定第7号） 刈谷市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について 水道事業会計決算認定について（認定第8号）	すべて認定及び可決
【平成25年度補正予算関係・4議案】 一般会計補正予算（第2号） 下水道事業特別会計補正予算（第1号） 後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号） 介護保険特別会計補正予算（第1号）	すべて可決
【請願 1件】 原発をなくし、自然エネルギーへの転換を求める請願	不採択
【議長発議 1件】 議員の派遣について	決定
【委員会報告 1件】 議会基本条例検討特別委員会の報告について	了承
【議員提出議案 2件】 刈谷市議会基本条例の制定について 定数改善計画の早期実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書	すべて可決

# 議案審議

## 単行議案

■工事請負契約の締結について  
 (仮称)夢と学びの科学体験館として整備される、中央児童館のプラネタリウム機器を更新します。

### 工事概要

(1) プラネタリウム機器製作・設置工事  
 (2) プラネタリウム内装工事

### 請負契約金額

2億399万円

### 契約の相手方

株式会社五藤光学研究所

### 工期

平成27年3月10日まで

〔問〕プラネタリウムをどのように活用していくのか。

〔答〕限りなく自然に近い星空が表現できるとともに、日食などの天文現象の再現を初め、ロケットに乗って宇宙を移動するような体験ができるほか、大人向けの番組も上映できることから、子どもから大人まで、多くの方々に天文や宇宙に興味を抱かせ、大いに活用できると考えている。



光学式デジタル映像システムを備えたハイブリッド方式のプラネタリウム

## 指定管理者の指定について

刈谷市つくし作業所の指定管理者を指定します。

### 指定管理者

社会福祉法人観寿々会  
 名古屋市長区朝日が丘75番地5

### 指定の期間

平成26年4月1日から平成36年3月31日まで

〔問〕指定管理者制度の利用により、経費が削減されるのか。

〔答〕つくし作業所の業務は専門性が高く、市直営で行うとなれば、新たに有資格者を採用するなど、多額の人員費が必要になると考えられるが、専門職を雇用している法人を指定管理者に指定することにより、質の高いサービスの提供と柔軟な運営が期待できる。

〔問〕引き続き同じ法人との契約となるが、利用者の評価はどうか。

〔答〕昨年度末に実施したアンケートによると、非常に高い評価をいただいております。多くの利用者の方に満足いただけていると考えています。



井ヶ谷町にあるつくし作業所

■工事請負契約の締結について  
 東刈谷町周辺の浸水対策として、公共下水道雨水幹線を整備します。

### 工事概要

(1) 延長 530m

(2) 管渠工 管径 1,650mm

延長 523m

(3) 人孔設置工 1箇所

請負契約金額 3億5,595万円

### 契約の相手方

株式会社近藤組

### 工期

平成27年1月30日まで

〔問〕雨水管の管径はどのような基準で選定しているのか。

〔答〕安城市と刈谷市の境目を流れる排水路の水量に対応するために必要な大きさとして選定している。

〔問〕工期が平成27年1月と、時間を要するのはなぜか。

〔答〕今回の工事では1日4、6メートル布設できる見込みで、休日や仕上げの期間なども考慮すると、6か月程度要すると考えている。

また、事前準備や撤去作業、さらには、湯水期でなければ施工できないものもあり、あわせて16か月の工期を確保している。

## 補正予算議案

補正予算議案は、全議員で構成する予算審査特別委員会を経て、関係する分科会で審査されました。

9月24日に再度予算審査特別委員会を開催し、各分科会での審査結果について各委員長より報告を受け、25日の本会議において原案のとおり可決しました。

補正する額(一般会計)

32億8,643万円

補正後の予算総額(一般会計)

504億7,304万9千円

補正後の予算総額(全会計)

781億285万3千円

主な事業

(児童福祉)

保育園の児童1人当たりの面積基準のうち、ハイハイができない児童について、県の条例が改正され、これまでより広い面積が必要となったことにより、慈友保育園、東刈谷保育園の乳児室を増築します。

1,150万円

(道路整備)

交通の円滑化と安全性確保を目的に、今川町交差点及びその周辺の市道を整備するための調査設計を委託します。

1,200万円



整備される今川町交差点周辺

(交通安全)

自転車利用者の利便性向上と違法駐輪をなくすことにより交通安全、環境美化を図るため、富士松駅南口と一ツ木駅南口に合わせて274台分の駐輪場を整備します。

2,741万円

道路利用者の交通安全確保を目的に、下重原町の重原横断歩道橋を架け替えるため、横断歩道橋の設計業務を委託します。

## 9月定例会提出議案の賛否について

9月定例会へ提出された議案のうち、賛否が分かれたものについて掲載します。

会派名及び議員名	自民クラブ							市民クラブ							公明クラブ			日本共産党議員団			清風クラブ			志誠会	新民主党	議長	副議長		
	加藤 峯昭	山崎 高晴	岡本 優	前田 秀文	加藤 賢次	渡辺 周二	鈴木 絹男	佐野 泰基	中嶋 祥元	伊藤 幸弘	黒川 智明	佐原 充恭	鈴木 浩二	山内 智彦	沖野 温志	松永 寿	白土 美恵子	樫谷 勝	新村 健治	野村 武文	山本 シモ子	上田 昌哉	新海 真規	星野 雅春	蜂須賀 信明	成田 正和	清水 行男	神谷 昌宏	
指定管理者の指定について(刈谷市つくし作業所)	可決	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成
決算関係5議案※1 認定第1号、第5号、第6号、第7号、第8号	認定	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	※2	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成
平成25年度一般会計補正予算	可決	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成
平成25年度後期高齢者医療特別会計補正予算	可決	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成

※1 議案名については3ページ「議決結果一覧表」をご参照ください

※2 中嶋祥元議員は監査委員のため決算議案の採決に加わりません



# 一般質問

## 市政のこころを問う

この定例会では9月4日から6日までの3日間に、14人が登壇し、市政全般についてただす一般質問が行われました。一人一項目を要約し、掲載します。

### 一般質問項目（発言順） ※印が掲載した項目です。

- 新海 真規 議員
  - 1 学校の水の安全について
  - 2 刈谷駅南口の民間大型開発について
  - 3 市営駐車場について
- 蜂須賀 信明 議員
  - 1 高齢化社会への刈谷市の対応について
  - 2 刈谷市の災害対策について
- 新村 健治 議員
  - 1 安定して働ける雇用の促進について
  - 2 高齢者など弱者の交通対策について
  - 3 災害に強いまちづくりについて
- 伊藤 幸弘 議員
  - 1 刈谷市の「地震対策アクションプラン」について
  - 2 刈谷市の「観光行政」について
- 山本 シモ子 議員
  - 1 地方税滞納整理機構の強権的な取り立てについて
  - 2 住宅リフォーム助成の創設について
  - 3 安心して受けられる介護保険制度について
  - 4 生活保護費減額による影響について
- 加藤 賢次 議員
  - 1 地籍調査について
  - 2 公園用地について
  - 3 特別支援学校について
- 上田 昌哉 議員
  - 1 まちづくりと農業について
  - 2 定住人口を増やす施策について
- 佐原 充恭 議員
  - 1 発達障がい者への総合支援について
  - 2 震災時の市民の対応と避難所について
  - 3 武文 議員
  - 4 市政へのアベノミクスの影響について
  - 5 生活を守る福祉増進と公共事業について
- 岡本 優 議員
  - 1 地域活動活性化事業について
  - 2 商工業振興策について
- 松永 寿 議員
  - 1 市民意識調査について
  - 2 防犯対策の推進について
  - 3 放置自転車の整理について
  - 4 美恵子 議員
  - 5 高齢者施策について
  - 6 アレルギー対応給食について
  - 7 がん教育について
- 白土 美恵子 議員
  - 1 南海トラフ大震災の対応について
  - 2 智明 議員
  - 3 雅春 議員
- 黒川 智明 議員
  - 1 観光施策について
  - 2 名鉄三河線について
  - 3 地方バス路線維持費補助事業について
- 星野 雅春 議員
  - 1 観光施策について
  - 2 名鉄三河線について
  - 3 地方バス路線維持費補助事業について

一般質問のすべての質問・答弁が映像でホームページからご覧になれます。「刈谷市議会」で検索し、「会議録をみる」または「議会映像をみる」をクリックしてください。

### 新海 真規 議員（一問一答方式）

#### 相生駐車場を総合文化センター駐車場と同様の料金体系に

「パーク・アンド・ライド」の観点により設定している。相生駐車場は、産業振興センターの利用者にとって欠かれないと思うが、駐車場料金の補助はどうなっているのか。

答 会議室やホールを利用された方のうち、参加者名簿などで利用者が特定できる場合に補助対象となり、1区分当たり2時間の補助をしている。

問 総合文化センターでは、あらゆるイベントにおいて、不特定多数の利用者に対し4時間まで補助されている。大きな箱物である産業振興センターも、

問 成年後見制度は、認知症や知的障害等により、判断能力に欠け、悪徳商法の被害を受けたり、財産管理や福祉サービスなどの契約がうまくできない方を守るための制度だが、窓口の相談内容と、直近3年の件数は。

答 財産管理処分、身上監護、資産分割協議など様々な相談が

### 蜂須賀 信明 議員（一問一答方式）

#### 成年後見センター設置の早期実現を

「具体的なセンター設置に向けた協議を行っていききたい」

問 成年後見制度は、認知症や知的障害等により、判断能力に欠け、悪徳商法の被害を受けたり、財産管理や福祉サービスなどの契約がうまくできない方を守るための制度だが、窓口の相談内容と、直近3年の件数は。

答 財産管理処分、身上監護、資産分割協議など様々な相談が

問 地域包括支援センターは社会福祉士、市民窓口は主に弁護士や司法書士、障害者支援センターは主に精神保健福祉士などが相談に対応している。

問 相談窓口の「一本化」の観点から、市立の成年後見センターを創設する考えはあるか。

答 昨年度設置した部会からの意見も踏まえ、成年後見センターの創設に向け、具体的に検討していきたいと考えている。

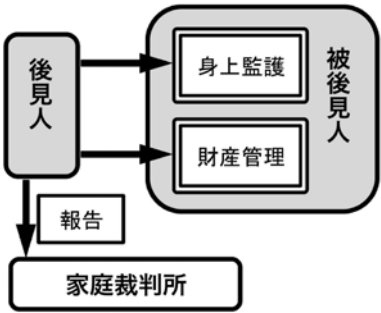
### 新村 健治 議員（一問一答方式）

#### 安定して働ける雇用の促進をめざし、「一層の努力を

「企業ニーズを把握し、きめ細やかな支援施策を展開する」

問 本市における有効求人倍率は、昨年と比べ、改善されているか。

答 平成24年6月の1.17倍から平成25年6月は1.32倍となり、緩やかに改善している。



成年後見制度のイメージ

問 企業の海外進出などで、産業の空洞化による雇用機会の損失が懸念されるが、即効性のある雇用・就労支援としてどのような施策を行っているか。

答 新卒者や若年者を対象とした合同企業説明会、就職活動、再就職支援を目的としたセミナー、また就労相談の窓口設置など、各種支援を実施している。

問 いざという時には、江戸時代の5人組のような最小単位の組織体が発揮すると思うが、各地区の自主防災会にどのような組織体制確立の助言をしているか。

答 各地区の末端まで組織化する取組みは重要と認識している。職員が各地区の訓練に参加したり、防災計画への助言などを行っており、今後も地域と連携し防災力を高めていきたい。

問 各地区の自主防災活動のレベル合わせをすることは重要

### 伊藤 幸弘 議員（一問一答方式）

#### 自主防災会の連絡会を設置し活動のレベル合わせと充実を

「地域との連携を図り、防災力の強化を進める」

問 いざという時には、江戸時代の5人組のような最小単位の組織体が発揮すると思うが、各地区の自主防災会にどのような組織体制確立の助言をしているか。

答 各地区の末端まで組織化する取組みは重要と認識している。職員が各地区の訓練に参加したり、防災計画への助言などを行っており、今後も地域と連携し防災力を高めていきたい。

問 各地区の自主防災活動のレベル合わせをすることは重要

問 西三河地方税滞納整理機構による納税交渉が強制的で、機構に移管された市民は「夫婦で死ぬことも考えた」など、生きる希望すら持てないほどの状況に追いやられている。私自身、機構職員の有無を言わせない言動に怒りすら感じたが、機構の対応をどう認識しているか。

答 滞納が高額かつ交渉が困難な方と相談しているが、生活が困難になるほどの強硬な徴収は行っていないと認識している。

問 通帳の残高7万円を全て

問 従業員の正社員化や雇用の促進等、今後の就労支援施策をどのように進めていくのか。

答 企業OBを活用した技術指導、顧客創出を目的とした見本市への出店、小規模企業に特化した設備投資支援などを進める中で、今後も企業ニーズの把握に努めながら、きめ細かな支援施策を積極的に展開し、本市の産業振興と雇用維持を図る。

問 組織の中心となり、訓練計画の検討や組織の指導を行う「防災リーダー」の養成講座を開催している。現在49名が活躍し、防災リーダー会などを通じて各地区の情報共有・レベルアップを図っている。今後は浸水など地区特有の災害への訓練や複数の自主防災会による合同訓練などにより、活性化や活動のレベル合わせにつなげていきたい。

問 税の徴収権限は市町村にあり、機構に法的権限はなく、機構に市民を移管することをやめるべきではないか。

答 機構は任意の組織で、滞納整理等は西三河の各市長名で行っている。

加藤 賢次 議員（一問一答方式）  
市立の特別支援学校の整備を

―肢体不自由に特化した市立の学校建設を検討―

問 特別支援学校の設置について、どのように考えているか。  
答 市内の知的障害児の多くは地元の小学校の特別支援学級に通っているが、肢体不自由児は機能訓練等のため、半田市などの市外の特別支援学校に通わざるをえない。長時間の通学時



半田市にあるひいらぎ養護学校

上田 昌哉 議員（一問一答方式）  
農業を守るため、減らさない施策を

―新規就農支援制度開始以降、4人が新規に就農―

問 農業は技術を身につけるのが大変であり、参入しにくい。守っていくためには新しく始める人が必要である。本市の新規就農支援制度の現状はどうか。  
答 後継者育成と遊休農地の有効活用を目的とするこの制度は、開始以降4人が新規就農し、現在2人から相談を受けている。



新規就農者を支援し、後継者を育成

問 現状的には、アパート経営の収入を得ながら農業をやるような形でないかと農地を守れない。企業の参入も農地を守る手段の一つであるが、今後の本市の方向性はどうか。  
答 水田の利用集積を進めて農地の集約化を図っていく。また、新規就農支援制度等を活用し、農業後継者の育成や遊休農地の解消・抑制に努めていく。  
問 跡継ぎ問題や高齢化等で農業を続けられなくなり、買い取られたり行為制限が解除された生産緑地を、将来的に公共施設や福祉、コミュニティ施設等に有効活用する考えはあるか。  
答 関係機関等が必要とすれば活用することは可能である。

佐原 充恭 議員（一問一答方式）  
オール刈谷市で、発達障害者のライフステージに応じた支援を

―引き続き関係機関と連携し、支援や機能強化を図る―

問 発達障害は多様で複雑であるため、刈谷市の各機能の取り組みを体系化し、組織的にオール刈谷で取り組むことが必要である。医療機関や教育現場等と連携し、専用教材や指導方法を研究伝授することは可能か。  
答 研修会等で医療機関や大学の専門家から発達障害児の理解や学習支援等の指導を受けている。また、自作教材の紹介や視聴覚機器の使用等の情報交換もしている。今後も各機関との連携や教材開発を進めていく。

野村 武文 議員（一括質問一括回答方式）  
生活を守る福祉増進と公共事業を

―福祉施策・企業支援施策で、まちおこしにつなげる―

問 小規模企業者向け補助制度の対象となる企業はどのくらいあり、その金額はどの程度か。また、今後どのように発展させていくのか。  
答 対象は従業員数が20人以下、商業またはサービス業は5人以下の事業者で、市内事業所の約66%である約3,700社を見込み、補助金額は1億円程度と想定している。今後は、中小企業投資促進補助事業等を通じて、設備投資の補助や業務改善の助言・指導を行っていく。

問 現状的には、アパート経営の収入を得ながら農業をやるような形でないかと農地を守れない。企業の参入も農地を守る手段の一つであるが、今後の本市の方向性はどうか。  
答 水田の利用集積を進めて農地の集約化を図っていく。また、新規就農支援制度等を活用し、農業後継者の育成や遊休農地の解消・抑制に努めていく。  
問 跡継ぎ問題や高齢化等で農業を続けられなくなり、買い取られたり行為制限が解除された生産緑地を、将来的に公共施設や福祉、コミュニティ施設等に有効活用する考えはあるか。  
答 関係機関等が必要とすれば活用することは可能である。

相談対応やサポートをしている。災害・交通安全」、西境地区では「散歩道の整備」のテーマが住民会議により掲げられ、具体的な事業計画が検討されている。半城土地地区では、現在テーマを検討している段階である。

問 財政支援のほかに、どのようなサポートをしているのか。  
答 住民会議などについて、円滑に運営される様、まちづくりコーディネーターを派遣して



住民会議でまちづくりについて協議

松永 寿 議員（一問一答方式）  
犯罪防止のための一層の取り組みを

―警備会社に委託し夜間のパトロールを実施―

問 多くの市民が犯罪に対して不安を抱えていると思うが、犯罪防止のためにどのような取り組みを行っているか。  
答 地域安全パトロール隊が行う自主防犯活動への支援や、青色防犯パトロール車による巡回及び警備会社による夜間巡回を実施している。

問 夜間巡回を警備会社へ委託した内容はどのようなものか。  
答 自主防犯活動が困難な時間帯の防犯活動を補完するため、午後10時から翌朝4時まで、夜間巡回を警備会社に委託し、その警備員が青色回転灯を装備した車両でパトロールしている。

問 福祉の増進と公共事業につながると思うが、公共施設の修繕等に要した工事の契約金額及び業者数は、どのくらいか。  
答 市営住宅においては、約1億700万円で、37社あり、公園関係では、約8億円で、59社であった。

問 市内で発生する犯罪情報をもとに活用しているのか。  
答 刈谷警察から犯罪に関する情報を提供いただき、地区単位の犯罪の種類と件数を集計している。

白土 美恵子 議員（一問一答方式）  
高齢者施策としての緊急通報システムの利用状況は

―平成25年7月現在で456世帯が設置―

問 本市の緊急通報システムの内容はどのようになっており、いつから実施しているか。  
答 非常ボタンや相談ボタンのついた本体と緊急ボタンのついたペンダント型送信機があり、急病などの緊急時にボタンを押すことで受信センターにつながり、看護師などの専門スタッフが24時間体制で救急車の出動要請など適切な対処を行うもので、平成5年度から実施し、25年度の事業費は1,334万1,000円である。

問 市営住宅には設置されているのか。  
答 3種類のパターンの外部に通報できるシステムがあり、それぞれ設置された住宅がある。

問 地域活動活性化事業とは、具体的にどのようなものか。  
答 地域コミュニティのきずなづくり及び活性化のために、地域が自主的に取り組む事業に対し、財政支援を行う交付金制度である。

問 地域活動活性化事業とは、具体的にどのようなものか。  
答 地域コミュニティのきずなづくり及び活性化のために、地域が自主的に取り組む事業に対し、財政支援を行う交付金制度である。

**黒川 智明 議員（一問一答方式）**  
**南海トラフ大震災に備えた施策の充実を**  
 関係機関との連携強化や災害情報の収集と発信に努める

**問** 本市の災害時の医療体制はどのようになっていくのか。

**答** 医師会・歯科医師会及び薬剤師会と協定を締結している。災害発生時には、被害状況等に応じて各市民センターに救護所を開設し、医師会等には医療救護班の派遣、薬剤師会には不足する医薬品等の調達要請する。

**問** 救護所の開設状況は市民にどのよう周知されるのか。

**答** 避難所への電話やファクスを始め、ホームページやメール配信、キャッチ、ピッチFM、同報無線、広報車などで行うが、今後は地区の防災訓練でも周知していく。

**問** 防災情報システムを活用した被災情報収集する仕組み

**星野 雅春 議員（一括質問一括答弁方式）**  
**ワンランクアップしたおもてなしによる観光施策を**  
 市民・事業者・行政が一体となった観光を推進していく

**問** 今年11月に開催され、全国から高校生が集まる産業教育フェアは、観光施策推進の重要なきっかけになると思うが、どのように取り組んでいるのか。

**答** 県設置の実行委員会に参画すると共に、会場となる施設や報道機関等にチラシの提供を行ってきた。今後は商店街や学校、近隣市等幅広くPRを行う。

**問** 観光協会のあり方は重要であると考えているが、どのような機能を果たしているのか。

**答** 市の各種業務のPR及び商工会議所や商店街連盟等、さまざまな団体と連携しながら各種事業に取り組んでいる。総おどりでは実行委員会組織を作っており、市民の発想や実行力を活用し、さらにはコスプレフェスタの開



いざという時のために



刈谷の魅力と情報の発信拠点として期待される観光案内所（刈谷駅前）

催など新たな文化の発信にも取り組み、一定の成果を上げている。今後は、定住自立圏の枠組みを活かした広域観光や市民・事業者・行政が一体となった観光を推進する必要があるため、観光協会の機能強化として法人化も含めて検討していきたい。

**刈谷市議会基本条例を制定しました**

～10月1日から施行しています。今度の刈谷市議会にぜひご注目ください～

**条例制定の趣旨・経緯**

近年、議会の役割と責任がますます重大になっていく中、刈谷市議会は、議員自らが議員としての自覚と見識を持って、主権を有する市民の負託に的確に答える決意を明らかにするとともに、議会の基本的な規範として「刈谷市議会基本条例」を制定しました。今後、この条例に沿った活動を行っていくことにより、議会の活性化を図り、市政の進展と、市民の福祉向上に寄与してまいります。

**条例の主な内容**

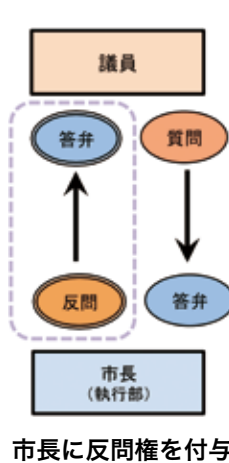
- 「総則」・・・目的、最高規範性、議会及び議員の責務等を規定
  - 「活動原則」・・・議会及び議員の活動原則、会派を規定
  - 「市民と議会及び議員の関係」・・・市民参加及び市民との連携、広報広聴機能の充実を規定
  - 「市長等及びその職員と議会及び議員の関係」・・・緊張感の保持、市長等による政策等の形成過程の説明及び資料提出の要求を規定
  - 「議会運営」・・・議員間討議、委員会の適切な運営を規定
- そのほか、「議会の機能強化」などを規定しました。
- ※条例の詳しい内容や、条例（素案）に寄せられたご意見等は、議会ホームページに掲載しています。



9月3日議会基本条例検討特別委員会終了後、加藤委員長（左）から清水議長に対し、26回に及ぶ協議結果が「委員会報告書」として提出されました。

**主にこんなことが変わります！**

① 反問権の付与  
 本会議・委員会において、議員が行う質疑等に対し、疑問な点などがあれば、市長をはじめとした執行部側から逆に質問を行うことができるようになります。



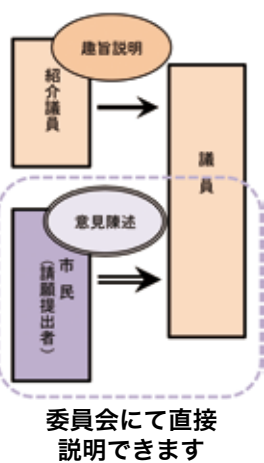
市長に反問権を付与

② 議員間討議  
 委員会での議案審議において、これまで議員間での議論は認められておりませんでしたが、今後、議員間での議論を行う機会を設けることができます。（議案審議に請願・陳情は含みません）



必要に応じて議員間で討議

③ 請願提出者の意見陳述の機会の付与  
 市民の方が市議会へ請願を提出した場合、現在は会議等で説明できる場合を設けておりません（請願の「紹介議員」が代わりに説明）が、今後は希望があれば、委員会において提出者が直接意見を述べることができるようになります。



委員会にて直接説明できます

※これらの運用は、議会運営委員会にて詳細を決定後に開始予定です。

**編集後記**  
**かけはし**

◆日本中が2020年東京五輪開催決定に沸く中、福島第一原発からの避難者は、いつ故郷に戻れるかわからない不安な日々を送っています。

安倍首相のIOCでの「汚染水はブロックされており、コントロールされている」との発言は、国際公約とも捉えられます。被災者のためにも、汚染水対策にあらゆる人的・物的資源を動員した対応が求められます。

◆今夏は記録的な猛暑と大雨に見舞われました。暑さを和らげる冷却グッズが売れる一方で、大雨・浸水に備えた防災グッズを買い求める人も増えているようです。

熱中症や豪雨で命を失った方もみえます。国や自治体ができるだけの対策を講じることはもちろんですが、まずは自分自身の身を守ることが大切ではないでしょうか。

◆9月定例会では、14名が一般質問に登壇し、各議員がそれぞれ市民の生活を守るため、福祉・暮らし・防災減災・雇用対策など、行政に対しあらゆる方面から質問を行いました。

また、今定例会においては、議会基本条例が制定されました。政治に課せられる課題は今後ますます大きくなって参ります。条例制定に伴い、市議会としても与えられた責務を果たせるよう、これまで以上に努力してまいりますので、ご指導・ご協力をお願いいたします。

（議会広報委員会）